

トピックス

【製造業】

景気低迷を肌で感じる。販売数が5個から2、3個、客単価も1000円から500円となり、売上が減少している。

ますます消費者(社)意識が強く、相見積等による価格の下落傾向が強い。

(今の現状は)すべて原油の高騰に原因があるように思います。これに対し日本の政治家達は何の策もないとしか思えません。勿論役人達にも。どうなるんでしょう将来の日本は！！

設備投資の上昇が必要です。コストは抑えられ、メーカー、問屋の単価は即実行される！

新製品の開発が急がれます。

受注はそれなりにありますが、製造業にとって現在コストダウンがひどく、経営の悪化となっております。

受注の状況が特によくありません。見積は以前の2倍位、受注は約1割、大変厳しい競争にさらされています。連動して資金繰りが大変です。

客先に加工食材及び諸経費等の高騰による原価削減の策として人件費省力化による止むを得ない設備投資として状況の変化が見られる。

大学関係の注文が著しく減少。

物価の上昇。

仕事受注量減少。円高、株価安、原油高。

先行き不透明、仕事の受注があっても1ヶ月先。3ヶ月先はハッキリせず。

材料費高騰、しかし納品単価は変わらずです。

受注先の数は減少していませんが、1社当たりの発注数量が減少し、これまで毎月生産があったものが隔月になったり、3ヶ月1回になったりし、全体として生産量の減少が続いています。

景気低迷。

【建設業】

8月までの受注があまりない。単価をたたかれ、値段交渉をうけている。

燃料の高騰、受注単価の低下。

材料の価格高騰で逆に工賃の減少。バブルの時もずっと好調できていたが最近では廃業も視野に入れています。

石油値上がり等による不況。個人の買い控え、故に受注減少又はキャンセル多い。雨による仕事の遅れ 秋から回復のきざしあり。

資材の単価上昇。住宅着工件数の減少。

景気を良くしてほしい！

低価格受注に加えて代金回収不能に近い物件が増えた。大規模同種業者の低価格受注により下請工事者の破綻につながる状況が顕著である。工事材料の高値も加えて悪状況である。

公共工事の減少及び建築確認による新築工事の減少により、建築全体が低迷していると思われる。原価の高騰による仕入材の値上げも厳しい状況。

受注の大幅減少。材料費の上昇を販売価格に反映されない。

原油、非鉄の高騰による消費低迷の予想。

品物上がり仕事が減り従業員には給料を払わなければならない今の状態です。

鋼材の値上がり。42年間の内はじめてです。今年に入ってから値上げは異常です。

【卸・小売業】

売上に波があり、それに比べて経費がかさんでしまっている。

燃料費等の高騰、建設建築等の発注の低下、景気の改善には遠いものです。

これから行われる法改正による消費者への影響が心配です。

加工品が海外製造となっている。

景気低迷感を感じる。嗜好品は敬遠されがち。花束でも5千円が3千円への客単価が減少している。

年配客の購買意欲の低下。

原料や包装資材など約10%は値上がりしているが、店としての値上げは5%に抑えている。

タスポの所有率がまだまだ低い。売上の安定に2~3ヶ月かかるのではと思っている。

ガソリンが高すぎ。すべての諸経費に関係してくる。国は何をやっているのか。

仕入単価は上昇するが、小売価格は抑えざるを得ない状況。

ガソリン等の高騰により買い控えがうかがえる。

新車(仕入金額が大きい)の販売が多く、利益は減少。売上額の割には利益が少ない。

流通の変化？消費形態の変化？

畳の部屋が少なくなってきた為とリフォームで畳の部屋を洋間に替える家庭が多い。

原油高で商品の高騰。

団塊世代の退職で販売価格が変化。

お財布の紐がかたい。ガソリンの高騰が気になる。

相模大野駅南口に大型店が近くオープンする為、今は状況を見守るしかない。

オークション向けに商品を展開するようになり、状況に明るさが見えてきた。

各種の値上がりをうけて今後の客足が心配。

21 若い人はお金が使えない、低価格の物が売れる。高価もしくは高価と思われる商品は売れない。

22 タスポ導入に伴ない、顧客がコンビニに流動。場渡り的な施策で本質を理解されないものが考える世の中であり、強いものの考えを押し通すことが出来る。又、押し通してしまう世の中の流れに沿う経営をしなければならない。

- 23 メール、パソコン等の普及による文具消費量の低下。
- 24 個人の所得低下がすべての価値観まで下げているように感じます。日本全体のレベルの低下を危惧します。
- 25 物価高による個人消費の低迷。

【飲食・サービス業】

飲食業は特に飲酒運転等の罰則の強化で大変なことになっている。

高齢者相手のサービス業なので、現在の諸物価の値上がりをどう捕らえているかで個人消費が変わってくると思うので想定しにくい。但し高齢者は確実に増えているので、生き方が前向きになっている人達が多いほど職業的には心配ない分野だと思っている。

個人消費の低迷。理容業の価格競争激化。この4～5年は厳しい状況が続いている。

建築基準法の改正に伴う着工数の減少。鋼材などの高騰により、マンション収支などがあわず着工できない。いいことがない。

原油高、高騰による各種原材料の値上げに伴ない製造系生産系の企業については先行きが不透明であり、景気は悪化する。消費者の消費は控え傾向となる。IT関連についてはソフトの開発は減少するが、税制の変更に伴ないパッケージ指向となる。

製造業を中心とした販売先の原料高、経費増によりIT関連の投資が減少してきた。